

News Release

報道関係各位

2017年3月24日

一般社団法人 住宅地盤リスク情報普及協会
ジャパンホームシールド株式会社
NPO 法人 住宅地盤品質協会

「住宅を対象とした液状化調査・対策の周知活動」が 「ジャパン・レジリエンス・アワード2017」最優秀レジリエンス賞を受賞

一般社団法人 住宅地盤リスク情報普及協会（代表理事：斉藤 武司）は、「ジャパン・レジリエンス・アワード（強靱化大賞）2017」（主催：一般社団法人レジリエンスジャパン推進協議会）において、同協会が取り組んでいる「住宅を対象とした液状化調査・対策の周知活動」が、最優秀レジリエンス賞（企業・産業部門）を受賞しました。



<表彰を受ける斉藤代表理事>



「ジャパン・レジリエンス・アワード（強靱化大賞）」は、次世代に向けたレジリエンス社会構築のため、強靱な国づくり、地域づくり、人づくり、産業づくりに資する活動、技術開発、製品開発等に取り組んでいる企業・団体からエントリーを募り、評価・表彰する制度です。2014年11月に創設され、今年で3回目となります。

今回受賞した活動は、戸建て住宅の液状化調査・対策の指針となる手引書を取りまとめて周知することで、液状化被害の低減を図るものです。戸建て住宅の液状化調査・対策は狭小地での施工となることや費用面の課題などがあり、これまで統一的な技術指針が示されていませんでした。これを受け、住宅地盤リスク情報普及協会では、ジャパンホームシールド株式会社およびNPO法人住宅地盤品質協会で構成された委員らが、敷地の制約や経済性にも配慮した分かりやすい指針をまとめ、全国で開催するセミナーなどを通じて周知に努めてきました。

手引書は住宅事業者や地盤関連会社、住宅購入者を対象とし、①液状化危険度評価のための地盤調査方法、②対策工法の設計・施工法および設計例、③調査費用と対策費用の概算方法について解説しています。これらの情報が広く知られることで、将来的な液状化被害の低減が期待できます。

住宅地盤リスク情報普及協会では今後も、安心・安全に関する有益な情報を発信していきます。

本件に関するお問い合わせ先

一般社団法人 住宅地盤リスク情報普及協会

所在地：東京都墨田区両国2-10-14 両国シティコア17F ジャパンホームシールド株式会社内

報道関係の方から：住宅地盤リスク情報普及協会 事務局 児新（コニイ） TEL. 03-5624-1545

※このリリースは、国土交通記者会、国土交通省建設専門紙記者会にお届けし、
ジャパンホームシールド（URL: <http://www.j-shield.co.jp/>）のホームページで発表しています。
<ジャパンホームシールドはLIXILグループの一員です>